



会社名

千代田化工建設株式会社

ウェブサイト

<https://www.chiyoda-corp.com/>

事業内容

建設業

事業内容

エネルギー、化学、医薬品、バイオ、FA等のプラント・施設およびこれらの環境保全に関する計画、設計、機器調達、試運転、運転・保全管理コンサルティング並びにトレーニング、研究開発・技術サービス、プロジェクトマネジメント

お客様のニーズ

- 低遅延、広帯域のネットワーク
- サービスメニューの多様性
- コストパフォーマンスの高さ
- 迅速な対応

お客様事例

AWS上での大容量データ解析に
低遅延・広帯域な
Coltクラウド接続サービスを
導入
インターネットのバックアップ用
ネットワークとしてColt IP Access
を導入



Coltは豊富なサービスメニューから要望に合ったサービスを選択できるため、私たちの要望に合ったネットワークを構築できました。Coltのネットワークを導入したことで、ユーザーが不便なく使えるシステム環境を提供しながら、私たちITマネジメントユニットとしては業務の効率化とコストの最適化を同時に実現できたため、非常に満足しております。



千代田化工建設株式会社
ITマネジメントユニット
コーポレートICTセクション
石野 大介

課題①

世界40カ国以上でエネルギー・化学・環境・医薬品・産業設備のプラント建設実績を持つ千代田化工建設株式会社。「エネルギーと環境の調和」を理念に、エネルギー関連技術のフロントランナーとして常に変化に挑戦しながら、エンジニアリングを通じて実りある社会の発展と地球環境の調和に貢献してきた。

同社は、パイプや配管内のガスの経路をモデリングすることで品質や正確性を分析する「熱流動解析システム」など、膨大なデータを同時計算、並列処理している。「瞬間風速的にデータ量が增大するため、従来のオンプレミス環境では容量・コスト・人的リソースのすべての点で限界を感じていました」と石野氏は語る。

また、同社はSAPの会計システムのログなど、会社法や法人税法により保管期間が定められたデータをオンプレミス環境で保有していた。データベースを参照する頻度は低いものの、一定期間の保管が義務付けられているため、サーバーリソースの最適配分と機器の維持・管理にかかる人的リソースの削減が課題だった。

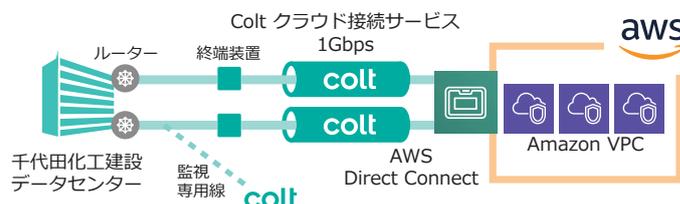
Coltを選択した理由①

オンプレミスではスペック追加のたびに機器の手配が必要だ。パブリッククラウドは必要な量だけ利用できるため投資対効果が高いと判断し、同社はアマゾン ウェブ サービス (AWS)への移行を決めた。

クラウド移行にあたってネットワークプロバイダ数社の提案を比較した上で、最終的に採用したのはColtクラウド接続サービスだった。「Coltは最も投資対効果が高かったことに加え、サービス内容が豊富な点が魅力的でした。より高い可用性でAWS接続を可能にするネットワークの冗長構成に加え、ルーターの設定まで含めた総合的な提案をして頂きました。複数のオプションを比較しながら、構成・価格感共に弊社の要件に最適なネットワークを選択できたのはColtだけでした」と石野氏は強調した。

同社は、ネットワーク導入と併せてルーターなどの機器の設定・保守も一括で任せられるマネージドサービスも利用している。「ITシステム部の運用負荷を大幅に軽減できたことに非常に満足しています」と石野氏は付け加えた。

接続イメージ図



課題②

同社が既存で利用していたデータセンターの障害によりインターネットが切断され、Office365などのシステムを半日以上利用できず社内外のコミュニケーションが取れなくなってしまうことがあった。「これを機に経営層からネットワーク環境を即座に見直すよう強い指示があり、事業継続計画(BCP)の面で業務を安定して遂行できるネットワークの迅速な再設計を余儀なくされました。ディザスタリーカバリー(DR)の観点からも、災害や社会インフラ障害によるシステム停止に備えるためにネットワークの増強は急務でした」と石野氏は語った。

Coltをお選びいただいた理由②

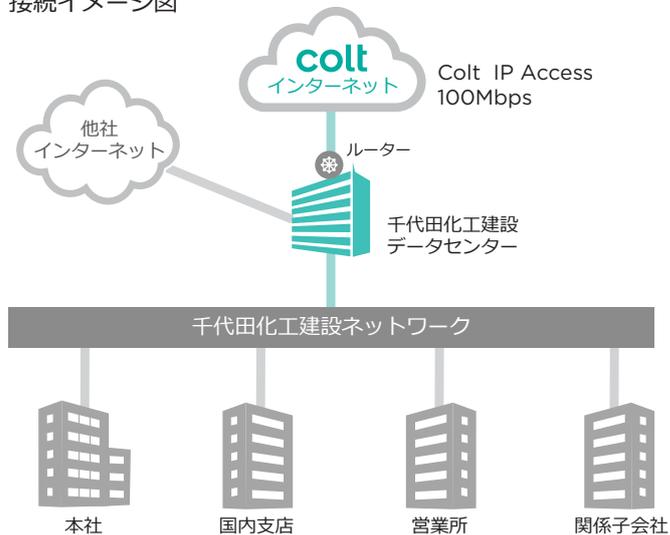
同社はデータセンター障害により社内外のコミュニケーションが絶たれたことに強い危機感を抱いた。経営層からもITインフラを再構築し、BCPやDRを強化するよう指示があり、すぐに数社のプロバイダーを比較・検討した。社内システムを安定して利用できるキャリア冗長構成を短納期で実現できたことが決め手となり、既存のインターネットのバックアップ用ネットワークとしてColt IP Accessを導入した。「Coltには限られた納期の中で迅速にサービスを提供していただきました。提案いただいてからネットワーク敷設までの全ての導入工程を約三か月で完了して頂いた点を高く評価しています」と石野氏は語った。

今後の展望

同社で取り扱うデータ容量は年々増加している。特に開発系のシステムは必要に応じて随時環境を増強する必要があるため使いたい時に使いたいだけ利用できるパブリッククラウドの利便性の高さを実感している。「今後は基幹システムなどもクラウドへの移行を検討しています。Coltには引き続き、私たちの要件に最適なネットワークをご提案頂きたいと考えています。また、国内だけでなく海外でも利用できるクラウド上のシステムの開発も進めており、Coltには強みであるグローバルネットワークを活かして弊社の海外拠点のインフラ増強もサポート頂ければと思います」と石野氏は語った。

Coltのインターネットは現在BCPだけでなく、EDIサーバーの認証としても利用されている。「Coltのインターネットは用途に合わせて利用帯域を調節できるバースト型のサービスメニューを選択できたことも魅力的でした。必要に応じて最大1Gbpsまで帯域を拡大することが可能で、使った分だけ課金されるため、投資対効果の高さを実感しています」と石野氏は満足感を示した。

接続イメージ図



詳細は以下へお問い合わせください。

<https://www.colt.net/ja/contact-us/>

- Website <https://www.colt.net/ja/>
- Twitter @Colt_Technology
- YouTube Colt Technology Services - Asia